

2) エンジンに関するもの (続き)

番号	用語	定義	参考		
			対応英語	慣用語	引用規格
3103	[エンジンの] オーバークール	過冷却のため、エンジンの一部の温度が作動適温に達しない現象。	[engine] over-cooling		
3104	[エンジンの] ベーパーロック	燃料供給系統内で、燃料が部分的に蒸発して燃料の供給を妨げる現象。	[engine] vapor lock	蒸気閉塞	
参考 (c.2-4)	ハンチング	不規則又は制御できない機関の回転速度変動。低周波のものをサージングといい、高周波のものをフラッタという。	hunting		JIS B 0108-2
3105	息つき	エンジンを一定速度又は加速運転しているとき、途中で回転速度が低下し、瞬間的に明確な出力低下をきたす現象。	sag, stumble		
3106	[ピストンリングの] スティック現象	ピストンのリング溝内でカーボンやスラッジ(燃焼生成物)が固まって、ピストンリングが動かなくなる現象。	[piston ring] sticking		
3107	スカッフ現象	シリンダ壁の油膜が切れて、ピストンリングが壁に直接接触し、リングやシリンダ壁の表面に引っかき傷ができる現象。	scuffing		
3108	[ピストンの] スラップ音	燃焼圧力と往復運動を行う部分の慣性力で生じるピストンスラスト方向荷重によって、ピストンがシリンダライナと衝突するときに発生する音。サイドノックともいう。	[piston] slap noise		
3109	フラッタ現象	ピストンリングが、リング溝と密着せずにバタバタ動く現象。	flutter		
3110	[エンジンの] オイル上がり	エンジンオイルが、シリンダボアとピストンやピストンリングのすき間から燃焼室に入る現象。	[engine] oil loss via the piston ring		
3111	[エンジンの] オイル下がり	エンジンオイルが、バルブガイドとバルブステムのすき間から燃焼室に入る現象。	[engine] oil loss via the valve guide		
参考 (c.2-5)	タペット音	タペット弁機構の運動による衝撃音及び打音の総称。	tappet noise		JASO Z 214
参考 (c.2-6)	異常燃焼	ノッキングや過早点火などの正常でない燃焼。	abnormal combustion		JIS B 0181-1 0108
参考 (c.2-7)	バックファイヤ	シリンダ内の火炎が、吸気管中を逆行する現象。	back fire	逆火	JIS B 0181-1 0108
参考 (c.2-8)	アフタファイヤ	燃焼過程の不良による排気管内燃焼、又は排気管出口の火炎現象。	after fire		JIS B 0181-2 0108
参考 (c.2-9)	後燃え	正常な燃焼期間が過ぎても、燃焼が続く現象。	after burning		JIS B 0181-1 0108
3112	着火ミス	スパークプラグの電極に火花が飛んでいるにもかかわらず、混合気が着火せず燃焼しない現象。原因としては、混合気が薄い又は濃い、スパークプラグのギャップが狭いなどがある。	mis-ignition		
参考 (c.2-10)	ミスファイヤ	1気筒以上の点火不能又は燃焼不良。これによって不規則な機関運転状態になる。	misfire	失火, 不点火	JIS B 0108-2
3113	プラグくすぶり	スパークプラグの中心電極、接地電極にカーボンなどが付着し、絶縁低下のため火花が生じない現象。	spark plug carbon fouling		
参考 (c.2-11)	ディーゼルノック	ディーゼル機関の燃焼において、燃焼初期の圧力上昇率が過大な形態の燃焼。	diesel knock		JIS B 0108-1
3114	[インジェクションノズルの] あとだれ	噴射終了時における、噴射口からの燃料漏れ。	[injection nozzle] dribbling, [injection nozzle] after dripping		